

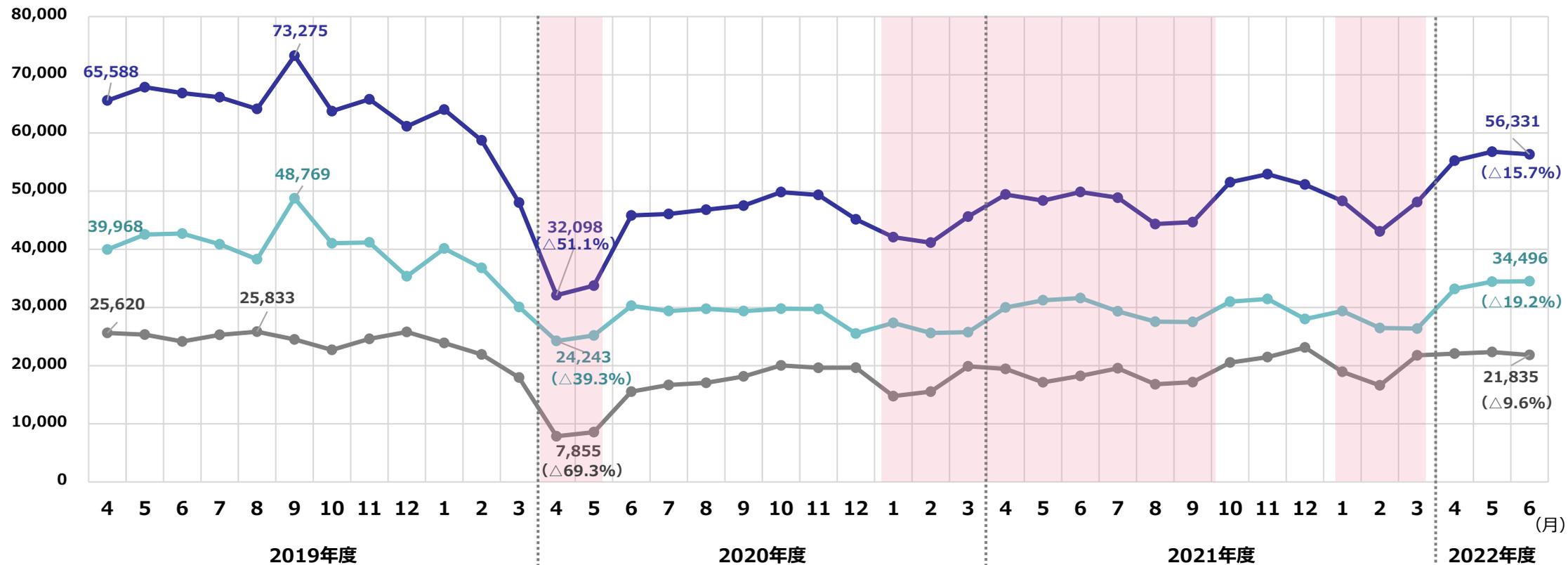


2023年3月期 第1四半期
決算説明資料

2022年7月29日

<小田急電鉄 輸送人員>

(千人)



● 定期 ● 定期外 ● 定期・定期外計
 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置 発出期間

※ () 内は対2019年度同月

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減
営業収益	88,355	91,469	+3,113 (+3.5%)
運輸業	31,712	37,401	+5,688
流通業	24,382	24,690	+307
不動産業	23,019	16,024	△6,994
その他の事業	15,847	19,261	+3,413
調整額	△6,606	△5,908	+698
営業利益	3,120	7,252	+4,132 (+132.4%)
運輸業	△45	3,835	+3,880
流通業	△129	502	+632
不動産業	6,475	4,309	△2,166
その他の事業	△3,191	△1,406	+1,785
調整額	11	11	—
経常利益	3,634	8,665	+5,031 (+138.4%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,341	5,593	△1,748 (△23.8%)

営業外・特別損益、連結貸借対照表



<営業外・特別損益>

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減・主な要因
営業外収益	2,024	2,880	+856 持分法による投資利益 595 (+431) 助成金収入 549 (+549)
営業外費用	1,511	1,468	△42
特別利益	9,513	770	△8,743 工事負担金等受入額 483 (+50) 固定資産売却益 204 (△2,754) 投資有価証券売却益 32 (△4,234)
特別損失	432	1,012	+579 固定資産圧縮損 449 (+67) 固定資産除却損 248 (+212)

<連結貸借対照表>

単位：百万円	2021年度	2022年度 第1四半期	増減・主な要因
流動資産	125,542	145,440	+19,898
固定資産	1,159,687	1,153,492	△6,195
資産合計	1,285,230	1,298,933	+13,703 現金及び預金 +20,078 有形固定資産 △4,936
流動負債	340,182	353,271	+13,088
固定負債	595,789	594,376	△1,413
負債合計	935,972	947,647	+11,674 有利子負債 +20,803
純資産合計	349,257	351,285	+2,028 利益剰余金 +1,938
負債純資産合計	1,285,230	1,298,933	+13,703

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	31,712	37,401	+5,688 (+17.9%)	
鉄道業	24,155	28,377	+4,221	(+)当社定期外収入の回復 +3,074
バス業	6,705	7,765	+1,060	(+)利用者数の回復
その他	851	1,257	+406	
営業利益	△45	3,835	+3,880 (-)	
鉄道業	1,267	3,701	+2,434	
バス業	△855	218	+1,074	
その他	△457	△85	+372	

<フリーパス売上枚数（対前年）>

箱根フリーパス	+108.9%
江の島・鎌倉フリーパス	+81.4%

<小田急旅行センター利用者数（対前年）>

乗車券等の購入者	△3.6%
----------	-------

<箱根エリアの営業収益（対前年）>

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減
箱根エリア*	2,267	3,308	+1,040

（参考）箱根交通各社合計輸送人員 対前年 +22.0%

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	92,848	102,099	+9,251	(+10.0%)	(△18.5%)
通勤定期	64,463	68,163	+3,700	(+5.7%)	(△22.0%)
通学定期	28,385	33,936	+5,551	(+19.6%)	(△10.2%)
定期外	54,792	66,241	+11,449	(+20.9%)	(△11.8%)
合計	147,640	168,340	+20,700	(+14.0%)	(△16.0%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	9,328	9,824	+496	(+5.3%)	(△20.9%)
通勤定期	7,885	8,059	+174	(+2.2%)	(△23.0%)
通学定期	1,443	1,765	+321	(+22.3%)	(△9.9%)
定期外	12,387	15,462	+3,074	(+24.8%)	(△14.8%)
旅客運輸収入計	21,715	25,286	+3,571	(+16.4%)	(△17.3%)
運輸雑収	860	789	△70	(△8.2%)	(△18.8%)
運輸収入合計	22,576	26,076	+3,500	(+15.5%)	(△17.4%)

■ 営業費

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減
営業費合計	20,885	22,450	+1,565
人件費	5,692	6,739	+1,047
修繕費	962	926	△36
動力費	1,058	1,469	+410
固定資産除却費	96	122	+25
減価償却費	6,234	6,096	△138
その他	6,840	7,096	+255

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	24,382	24,690	+307 (+1.3%)	
百貨店業	7,322	8,080	+758	(+)前期一部売場臨時休業
ストア・小売業	15,246	14,851	△395	(△)ベーカリー事業の営業終了 (+)駅構内コンビニの利用者数回復
その他	1,813	1,757	△55	
営業利益	△129	502	+632 (-)	
百貨店業	△251	486	+737	
ストア・小売業	155	△10	△165	
その他	△33	26	+60	

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2022年度 第1四半期	増減
新宿店	4,803	7.9%
店頭	4,686	8.3%
町田店	2,104	19.8%
ふじさわ	436	5.8%
その他	736	5.0%
合計	8,080	10.4%

<ストア・小売業：小田急商事ストア部門取扱高（対前年）>

全店	△1.1%
既存店	△1.1%

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	23,019	16,024	△6,994 (△30.4%)	
不動産分譲業	12,378	4,874	△7,504	(△)計上戸数減
不動産賃貸業	10,640	11,150	+509	
営業利益	6,475	4,309	△2,166 (△33.5%)	
不動産分譲業	2,063	153	△1,910	
不動産賃貸業	4,412	4,156	△256	(△)新規開業物件費用増

<不動産分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減
戸建	12	17	+5
マンション	198	30	△168
土地	104	20	△84
合計	314	67	△247

単位：百万円	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	15,847	19,261	+3,413 (+21.5%)	
ホテル業	2,357	3,632	+1,274	(+)ホテル稼働回復
レストラン飲食業	2,682	3,620	+937	(+)利用者数の回復
その他	10,807	12,008	+1,200	(+)リゾート人材派遣需要回復
営業利益	△3,191	△1,406	+1,785 (-)	
ホテル業	△2,554	△1,571	+983	
レストラン飲食業	△558	△86	+471	
その他	△78	251	+330	

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	16.5%	19.9%	+3.4P
ホテルセンチュリーサザンタワー	2.4%	9.9%	+7.5P

<ホテル業：客室稼働率>

	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	11.8%	47.5%	+35.7P
ホテルセンチュリーサザンタワー	13.1%	38.1%	+25.0P
山のホテル	30.5%	54.6%	+24.1P
箱根ハイランドホテル	29.4%	45.0%	+15.6P
ホテルはつはな	35.3%	-	-

※ 「ホテルはつはな」はリニューアル工事のため2022年1月より休業しています。

連結業績予想



※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
営業収益	358,753	401,100	+42,346 (+11.8%)
運輸業	131,207	154,600	+23,392
流通業	100,853	101,400	+546
不動産業	80,946	82,600	+1,653
その他の事業	74,143	91,300	+17,156
調整額	△28,397	△28,800	△402
営業利益	6,152	24,600	+18,447 (+299.8%)
運輸業	△5,491	11,400	+16,891
流通業	1,695	700	△995
不動産業	18,570	15,900	△2,670
その他の事業	△8,668	△3,400	+5,268
調整額	46	0	△46
経常利益	4,699	22,300	+17,600 (+374.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,116	10,000	△2,116 (△17.5%)
設備投資額	64,693	78,100	+13,406
減価償却費	49,363	48,300	△1,063
有利子負債残高	756,537	759,100	+2,562

<参考> 2019年度と比較した営業収益の回復見込 ※

運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小田急電鉄 鉄道業 定期は80%程度、定期外は90%程度 ■ バス業 90%程度 ■ 箱根（交通各社）※ 85%程度 ※ 台風被害による運休の影響がない2018年度と比較
流通業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 百貨店業 70%程度 ■ ストア・小売業 2019年度並み
不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不動産賃貸業 2019年度並み
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホテル業 70%程度 ■ レストラン飲食業 80%程度

※ 2021年度より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、会計方針の変更による影響額を控除して比較を行っています。

セグメント別業績予想（運輸業）



※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因	
営業収益	131,207	154,600	+23,392 (+17.8%)	
鉄道業	99,086	116,200	+17,113	(+)当社定期外収入の回復 +10,409
バス業	27,865	32,100	+4,234	
その他	4,254	6,300	+2,045	
営業利益	△5,491	11,400	+16,891 (-)	
鉄道業	△816	11,200	+12,016	
バス業	△3,201	100	+3,301	
その他	△1,472	100	+1,572	
設備投資額	28,469	36,300	+7,830	
減価償却費	32,830	31,500	△1,330	

<箱根エリアの営業収益（対前年）>

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
箱根エリア※	11,215	18,604	+7,389

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

営業収益の推移（単位：億円）



※ 会計方針変更前

セグメント別業績予想（運輸業）

※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2021年度	2022年度	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	349,917	396,689	+46,772	(+13.4%)	(△17.0%)
通勤定期	257,710	287,249	+29,539	(+11.5%)	(△17.8%)
通学定期	92,207	109,440	+17,233	(+18.7%)	(△14.8%)
定期外	230,695	268,891	+38,196	(+16.6%)	(△6.5%)
合計	580,612	665,580	+84,968	(+14.6%)	(△13.0%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	35,618	39,588	+3,970	(+11.1%)	(△18.1%)
通勤定期	30,963	33,979	+3,015	(+9.7%)	(△18.6%)
通学定期	4,654	5,609	+954	(+20.5%)	(△15.0%)
定期外	52,991	63,400	+10,409	(+19.6%)	(△8.1%)
旅客運輸収入計	88,609	102,989	+14,379	(+16.2%)	(△12.2%)
運輸雑収	3,376	3,174	△202	(△6.0%)	(△16.4%)
運輸収入合計	91,986	106,163	+14,177	(+15.4%)	(△12.3%)

■ 営業費

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
営業費合計	91,139	94,995	+3,855
人件費	24,695	26,450	+1,754
修繕費	6,855	7,873	+1,017
動力費	5,106	5,668	+562
固定資産除却費	1,362	1,809	+446
減価償却費	25,583	24,693	△890
その他	27,534	28,500	+965

セグメント別業績予想（流通業）



※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因	
営業収益	100,853	101,400	+546 (+0.5%)	
百貨店業	32,115	32,500	+384	(+)利用者数の回復 (△)新宿駅西口地区開発計画による新宿店売場縮小
ストア・小売業	61,527	61,400	△127	(△)ベーカリー事業の営業終了 (+)駅構内コンビニ利用者数の回復
その他	7,210	7,500	+289	
営業利益	1,695	700	△995 (△58.7%)	
百貨店業	1,264	△700	△1,964	(△)新宿店リニューアル関連費用の発生
ストア・小売業	462	1,300	+837	(+)ベーカリー事業の営業終了
その他	△31	100	+131	
設備投資額	1,657	7,600	+5,942	
減価償却費	2,730	2,800	+69	

営業収益の推移（単位：億円）



セグメント別業績予想（不動産業）

※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因
営業収益	80,946	82,600	+1,653 (+2.0%)
不動産分譲業	37,427	39,000	+1,572
不動産賃貸業	43,519	43,600	+80
営業利益	18,570	15,900	△2,670 (△14.4%)
不動産分譲業	3,529	1,400	△2,129
不動産賃貸業	15,040	14,500	△540
設備投資額	32,875	28,600	△4,275
減価償却費	9,707	10,200	+492

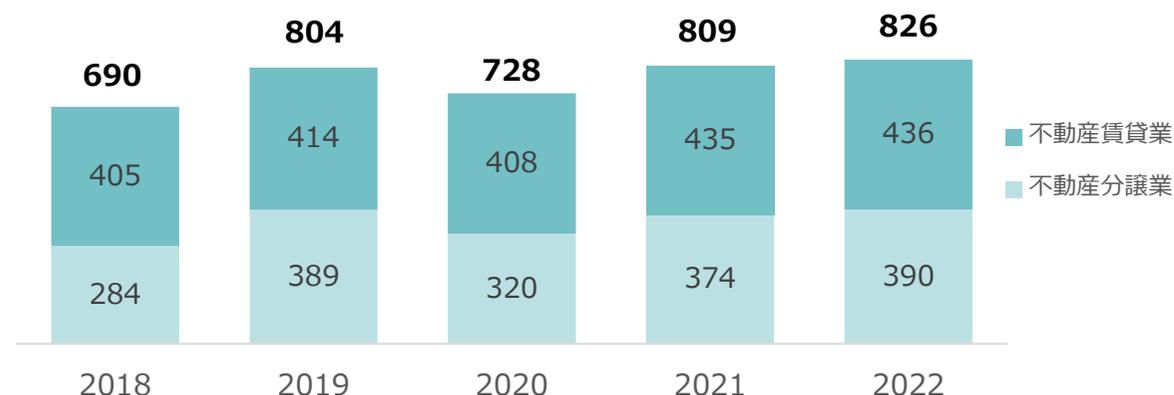
<不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

単位：戸・区画	2021年度	2022年度	増減
戸建	66	87	+21
マンション	413	110	△303
土地	148	34	△114
合計	627	231	△396

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却予定件数>

単位：件	2021年度	2022年度	増減
投資用不動産	-	5	+5

営業収益の推移（単位：億円）

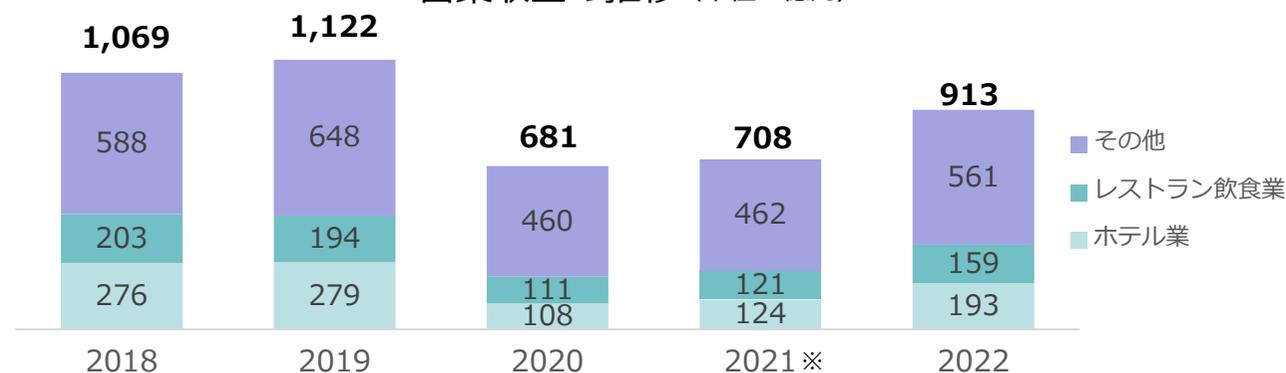


セグメント別業績予想（その他の事業）

※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因
営業収益	74,143	91,300	+17,156 (+23.1%)
ホテル業	12,342	19,300	+6,957
レストラン飲食業	12,115	15,900	+3,784
その他	49,685	56,100	+6,414 (+)リゾート人材派遣需要回復 (+)利用者数の回復（旅行業）
営業利益	△8,668	△3,400	+5,268 (-)
ホテル業	△7,779	△4,100	+3,679
レストラン飲食業	△1,500	200	+1,700
その他	612	500	△112
設備投資額	1,690	5,600	+3,909
減価償却費	4,170	3,800	△370

営業収益の推移（単位：億円）



※ 会計方針変更前

(参考) 第2四半期 連結業績予想



※ 2022年4月公表の業績予想から修正していません。

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
営業収益	174,777	195,500	+20,722 (+11.9%)
運輸業	62,749	77,200	+14,450
鉄道業	47,417	58,100	+10,682
バス業	13,555	16,000	+2,444
その他	1,775	3,100	+1,324
流通業	49,747	53,600	+3,852
百貨店業	15,375	18,900	+3,524
ストア・小売業	30,720	31,000	+279
その他	3,651	3,700	+48
不動産業	42,346	35,500	△6,846
不動産分譲業	20,926	13,900	△7,026
不動産賃貸業	21,419	21,600	+180
その他の事業	33,161	42,400	+9,238
ホテル業	5,277	8,400	+3,122
レストラン飲食業	5,343	8,200	+2,856
その他	22,540	25,800	+3,259
調整額	△13,227	△13,200	+27

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
営業利益	2,808	14,800	+11,991 (+426.9%)
運輸業	△2,945	7,900	+10,845
鉄道業	△21	7,600	+7,621
バス業	△2,031	200	+2,231
その他	△892	100	+992
流通業	108	1,800	+1,691
百貨店業	10	1,100	+1,089
ストア・小売業	143	700	+556
その他	△44	0	+44
不動産業	11,364	8,000	△3,364
不動産分譲業	2,884	100	△2,784
不動産賃貸業	8,480	7,900	△580
その他の事業	△5,741	△2,900	+2,841
ホテル業	△4,566	△3,000	+1,566
レストラン飲食業	△1,043	100	+1,143
その他	△130	0	+130
調整額	23	0	△23
経常利益	2,547	14,000	+11,452 (+449.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,986	7,600	△386 (△4.8%)

■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社